

主な出来事

【内政】

- クーデター未遂事件の予審手続きの開始
- 国民議会通常会期の開催
- ンコゲ・ベカレ首相による施政方針演説
- ボンゴ大統領の一時帰国

【外政】

- AU総会へのンコゲ・ベカレ首相の出席
- 仏海軍のミストラル級強襲揚陸艦寄港

【経済】

- ガボンエネルギー水道公社（SEEG）と仏 Veolia 社の対立が終了
- 炭化水素法（石油法）の改定の閣議承認

【内政】

1 県議会・市議会議員選挙の実施

3日、県議会・市議会議員選挙が実施された。（4日付UN）

2 与野党代表による全国民主主義評議会（CND）の再活性化の呼びかけ

5日、与野党代表がCNDの再活性化及びCND設立当初に付与された目的への想起を謳う声明を発表した。設立から間もなく2年となるCNDは予算の未配賦による本会議の未開催といった機能不全に陥っている。（5日付GMT）

3 クーデター未遂事件の予審手続きの開始

1月7日にクーデター未遂事件を起こした軍人ら10名に対する予審手続きが開始された。予審判事は、27ヶ月をかけて予備的捜査の間に解明されなかった点を審査することができる。（9日付UN）

4 ガボン全土での区長及び副区長選挙の実施

10日、ガボン全土で区長及び副区長選挙が開催された。（11日付UN）

5 オスカ・ラポンダ国防・国土治安大臣による宣誓

12日、在モロッコ・ガボン大使館においてボンゴ大統領臨席のもと行われたオスカ・ラポンダ国防・国土治安大臣による宣誓式が行われた。（13日付UN）

6 政府間セミナーの開催

15日から17日にかけて、政府間セミナーが経済再生計画における改革の評価等のため、「経済的・社会的変革に関するダイナミズムの拡大」というテーマで開催された。（18日付UN）

7 国民議会通常会期の開催

21日、国民議会の通常会期が開催された。同関連式典において、ブグビ国民議会議長はンコゲ・ベカレ首相に対し、若手公務員のポスト不足やオマール・ボンゴ大学の定員オーバーといった諸問題に対する解決策を求めた。(21日付UN)

8 ミボト国民連合(UN)代表による「大統領の不在」の訴え

23日、ミボト(Mr. Zacharie Myboto) UN代表は、ガボンの混沌とした状況を是正するため、「大統領の不在」を憲法裁判所が認めるよう訴えた。(22日付GA)

9 ンコゲ・ベカレ首相による施政方針演説

26日、ンコゲ・ベカレ首相は国民議会において施政方針演説を行った。同首相は同演説後の信任投票において賛成116票(反対14票、無効2票)を獲得し、信任を得た。同演説では、今後3年間の公的機関の定員数の削減、公務員の自主的退職者の促進等を通じた公務員の採用管理等について発言を行った。

10 ボンゴ大統領の一時帰国

24日夜、療養先のラバトからボンゴ大統領がガボンに一時帰国した。25日、ボンゴ大統領は、大統領府にて政府関係者からの表敬を受けるとともに、26日にボンゴ大統領の下で閣議が開催された。その後、ボンゴ大統領は26日夜にモロッコへと帰還した。

【外政】

1 駐ガボン・ロシア大使によるロシア・ガボン関係に関する記者会見

7日、クラコフ(Dimitri Kourakov) 駐ガボン・ロシア大使は在ガボン・ロシア大使館で記者会見を開催し、ここ1年のロシア・ガボン関係の総括を行った。貿易面に関し、2018年1月から11月にかけてのロシアの対ガボン輸出額は660万ドルであった。ガボンは主に石油や石油製品、食料品等をロシアから輸入する一方、ロシアはガボンのマグネシウム鉱石を輸入している。また、教育面では毎年、ロシアの高等教育機関への奨学金の給付を行うとともに、文化面では当地ロシア大使館が当地でロシア絵画展を3度開催した。(7日付GMT)

2 AU総会へのンコゲ・ベカレ首相の出席

10日から11日にエチオピアのアディスアベバで開催されたAU総会にガボン政府を代表してンコゲ・ベカレ首相が出席した。同首相は気候変動に関する会合の司会を務めた。(13日付UN)

3 仏海軍のミストラル級強襲揚陸艦寄港

16日、ギニア湾の安全保障に関する仏・ガボン間の協力関係の一環で仏海軍のミストラル級強襲揚陸艦がポールジョンティ港、オウエンド港に寄港した。(19日付UN)

【経済】

1 2019年度の歳入は推計2兆1134億セーファ

ガボン国会は2019年度予算を採択し、歳入は前年度比3%増の2兆1134億セーファと推計されている。(1日付GA)

2 2018年度歳出, 2017年度比で15%増

2018年度歳出は前年度比で1,730億セーファ増の1兆1194億セーファに達した。同結果は、ガボン政府によるIMFの指導を踏まえた取組及び経済再生計画の施策等が十全に行われていないことを示している。(5日付GMT)

3 アフリカ開発銀行による水道ネットワークの拡張・修繕工事支援

7日、オガンダガ経済・計画・開発計画大臣とアフリカ開発銀行代表は、リーブルビル市内の水道ネットワークの拡張・修繕工事に関する770億セーファ規模のプロジェクト(グラン・リーブルビル)の協定に署名した。(11日付GMT)

4 Maurel&Prom社が前年比売上高10%増を発表

ガボンにおける石油産出量が減少する中、Maurel&Prom社は、同社の2018年の売上高が前年比10%増の2,545億セーファであったと発表した。(12日付GMT)

5 ガボン政府, 2019年度の保健関連予算として2千億セーファ以上を割り当て

ガボン政府は、全予算額の約10%に相当する2千億セーファ以上が2019年度の保健関連予算として、割り当てることを決定した。(13日付GMT)

6 2018年度のTotal Gabon社の売上高は, 前年比1%減の5,450億セーファ

2018年度のTotal Gabon社の売上高は前年比1%減の5,450億セーファとなった。(19日付UN)

7 ガボンエネルギー水道公社(SEEG)と仏Veolia社の対立が終了

ガボン政府(ガボンエネルギー水道公社(SEEG))と仏Veolia社との契約解除から一年、VeoliaがSEEGの株式の51%をガボン政府に譲渡するなどの両者の合意により、両者の対立は終了した。(19日付UN)

8 中国資本Jin Shan Wood社工場の開所式の開催

22日、ンコゲ・ベカレ首相は中国資本のJin Shan Wood社の木材加工工場の開所式を執り行った。(23日付UN)

9 ガボン政府及び世銀間でのガボン政府の財政健全化及び経済多角化の取組支援のための2億ドルの借款契約協定書の署名

25日、オガンダガ経済・計画・開発計画大臣と世銀代表者はガボン政府の財政健全化及び経済多角化の取組を支援するために、2億ドル(約1,160億セーファ)の借款契約の協定書に署名した。(26日付UN)

10 炭化水素法(石油法)の改定の閣議承認

26日に開催された閣議において、IMF及びヒューストン大学の協力のもと作業が行われていた炭化水素法典(石油法典)の改定が承認された。同改定により、油田探査・開発期間の延長、更なる投資誘致等が可能になると見られている。(27日付GMT)

出典:PR(大統領府公式HP),UN(ユニオン紙),GM(ガボン・マタン紙),GN(ガボン・ニュース電子版ニュース),AFP,GA(Gabonactu.com),GR(ガボン・レヴュー電子版ニュース),LG(ル・ガボン電子版ニュース),GE(ガボン・エコ電子版ニュース),AFP(フランス通信社),GL(ガボンリ

ーブル電子版ニュース), *AFI*(アフリカ・エネルギー・インテリジェンス), *LP*(*LOUP* 紙), *EN*(エコー・ノール紙), *GMT*(*Gabonmediatime*)